

26期 第1回国際委員会Gサイエンス学術会議分科会
議事要旨

1. 日 時 : 令和6年2月8日(木) 10:00~11:30
2. 場 所 : Zoom開催
3. 出席者: 日比谷委員長、高山副委員長、黒橋幹事、宮本幹事、芳賀委員、磯委員(事務局) : 大沼参事官、国際業務担当室員

4. 議 題

(1) 分科会役員の選出について

委員の互選により、委員長には日比谷委員が選任された。また、委員長の指名により、副委員長に高山委員、幹事に黒橋委員と宮本委員が選任された。

(2) Gサイエンス学術会議と25期からの申し送りについて

事務局より資料2に基づきGサイエンス学術会議の概要を説明した上で、今年のGサイエンス学術会議2024はイタリアのリンチェイ国立科学アカデミーが主催すること及び共同声明取りまとめまでのスケジュールを説明した。続けて事務局より第25期国際委員会から第26期への申し送りについて、Gサイエンス学術会議に関連する部分を中心に紹介した。

(3) Gサイエンス学術会議2024共同声明案について

各テーマの担当委員が、共同声明第二次ドラフトの概要と日本から提出した第一次ドラフトへのコメントの採否について説明し、第二次ドラフトへの更なるコメントの提出の要否について議論が行われた。

日比谷委員長より、今後、共同声明二次ドラフトへの各委員のコメントの整合等を事務局と確認の上、全体のバランスを踏まえ適宜調整を図る可能性がある旨を説明した。

(4) その他について

事務局より、メール審議の概要について説明した。今後のメール審議の実施の際の便宜をはかるために連絡先を共有することについて、参加した委員は了承した。最後に日比谷委員長より、次回分科会の開催は、カナダで2025年に開催予定の次回のGサイエンス学術会議を見据え、次回のテーマに応じて開催したい旨説明した。

以上